**10 中村桂子『ゲノムが語る生命─新しい知の創出─』**

十一世紀に書かれた短編集堤中納言物語』の中の一つが「虫づる姫君」です。①が大好きなお姫様のお隣に、こちらは毛虫が好きな女の子が住んでいます。女の子といっても大納言の姫君、おつきの人もたくさんいます。でも毛虫が好きなんて……周囲の人は怖がって逃げてしまいます。そこで、男のに虫たちを集めてもらい、箱や籠の中に入れ、名前をつけて遊ぶのです。

このようにあらすじを書いていくだけでは、虫が大好きな変てこな女の子がいたで終わってしまいます。私も以前はそうとしか思っていませんでした。ところが、細部を読むとおもしろい。とにかく姫君の言葉を聞いてください。

「人びとの、花、蝶やと愛づるこそ、はかなくあやしけれ。人は、まことあり尋ねたるこそ、心ばへをかしけれ」と言って、「よろづの虫のおそろしげなるを取り集めて、『これが、成らむさまを見む』とて、さまざまなどもに入れさせたまふ」のです。人びとは、花や蝶は美しいと言って褒めたたえるけれど、実は、蝶になるもとは毛虫。ここにこそすべての基本があるわけではありませんか、というのが姫君の言い分です。そして毛虫が蝶に変わっていく様子を観察しようと、箱に入れさせるのです。「よろづのことどもを尋ねて末を見ればこそ、ことは、ゆゑあれ。いとをさなきことなりの、蝶とはなるなり」。

これが「②愛づる」です。見たところがとても美しいからがるというのではなく、対象をよく見つめていると、その本質が見えてきて、愛らしくなると言っているのです。ここには「本地尋ねたる」とあり、この「本地」は仏教の言葉でしょう。物語の中で本地という言葉が登場するのは、これが初めてだと教えていただき、とても興味深く思いました。

本質を見る。（Ⅰ）今私たちが生きものの研究をするにあたって常に考えていることは、本質を見るにはどうしたらよいだろうということです。（Ⅱ）平安時代のお姫様ですから、ⓐケンビキョウがあるわけでも、ましてやＮＡを分析できるわけでもありません。（Ⅲ）道具の問題ではありません。心がけとして、対象がときを刻んでいく様子を見ると、生きることの本質が見えてくるということがわかっているのです。（Ⅳ）

両親はこの風変わりなお姫様を困ったものとは思っていますが、もちろん、愛しています。「外聞が悪い」と言う両親に「きぬとて人の着るも、のまだ羽つかぬにしだし、蝶になりぬれば、いとにて、あだになりぬるをや」、つまり、「絹糸を吐くのは蚕で蝶（）になってしまったら、もう役には立ちません」とⓑリクツで対応し、有用性まで語るとは、現代のイオテクノロジストも顔負けです。

このお姫様には、もう一つ興味深いところがあります。「人は、すべて、つくろふ所あるはわろし」と言って、当時は十二、三歳になると行う風習であった眉を抜くことも、歯黒をつけることも「うるさし、きたなし」と言って行いません。虫を見るときは髪の毛がⓒジャマなのではさみ（耳の後ろに髪をかける）します。自然志向で合理的、ますます現代生物学者そのものです。

語　注

『堤中納言物語』＝平安時代に成立したとされる物語集。十編の短編と、一つの断章から成る。

本地＝物の本源。本来の姿。

籠箱＝虫かごなどに用いる、底板以外の面に布などを張った箱。

烏毛虫＝毛虫のこと。

ＤＮＡ＝細胞核内の染色体の重要成分。遺伝情報の保存や複製に関与している。

バイオテクノロジスト＝生物工学・生命工学の専門家。

お歯黒＝歯を黒く染めること。また、それに用いる液。

耳はさみ＝髪を耳の後ろへはさむこと。当時は身だしなみを欠く下品な姿とされた。

問1　二重傍線部ⓐ～ⓒのカタカナを漢字に直せ。（3点×3）

ⓐ〔　　　　　〕　ⓑ〔　　　　　〕　ⓒ〔　　　　　〕

問2　波線部「外聞」と意味が異なるものを次から一つ選べ。（5点）

ア　面目　　イ　評判　　ウ　体裁

エ　外面　　オ

問3　次の一文は本文中の（Ⅰ）～（Ⅳ）のどこに挿入するのが最も適当か。記号で答えよ。（9点）

けれども、毛虫が変化していくのをじっと見つめていることで、本質が見えるという自信をもっている。

〔　　〕

問4　筆者が「姫君」のことを、を用いて表している部分を、本文中から六字で抜き出せ。（9点）

〔　　　　　　　〕

問5　傍線部①の「虫愛づる姫君」のあらすじで、「蝶が大好きなお姫様のお隣に」という情報をここに入れていることに、どのような意味があるか。その説明として最も適当なものを次から選べ。（9点）

ア　蝶が大好きなお姫様は、これ以降の本文とかかわる重要な人物であるため。

イ　隣に虫好きな友達が住んでいたことによって、姫君も虫好きになったため。

ウ　見た目に左右されずに本質を追究する姫君の存在を、より際立たせるため。

エ　「虫愛づる姫君」とは、蝶も毛虫も好きな姫君であることを強調するため。

オ　異なる感性を持つ者を並べて、その後の両者の人生を比較するため。

〔　　　〕

問6　傍線部②について、ここでの「愛づる」とはどのような意味か。本文中から二十五字以上、三十字以内で抜き出し、最初の五字を答えよ。（9点）

〔　　　　　　〕

練習問題〈難読語〉

次の漢字の読みを答えよ。

①　雑炊（　　　　　　　　　）

②　嫌悪（　　　　　　　　　）

③　曖昧（　　　　　　　　　）

④　匿名（　　　　　　　　　）

⑤　些細（　　　　　　　　　）

⑥　呆然（　　　　　　　　　）

⑦　成就（　　　　　　　　　）

⑧　献立（　　　　　　　　　）

⑨　体裁（　　　　　　　　　）

⑩　欺瞞（　　　　　　　　　）

【解答】

問1　ⓐ顕微鏡　ⓑ理屈　ⓒ邪魔

問2　エ

問3　（Ⅲ）

問4　現代生物学者

問5　ウ

問6　対象をよく

【練習問題解答】

①ぞうすい　②けんお　③あいまい　④とくめい　⑤ささい

⑥ぼうぜん　⑦じょうじゅ　⑧こんだて　⑨ていさい　⑩ぎまん

【50字要約例】

「虫愛づる姫君」の「愛づる」とは対象をよく見ることで、生きることの本質を見ようとする姿勢である。（48字）

【補充設問】

問　本文における「虫愛づる姫君」の説明として最も適当なものを次から一つ選べ。

　ア「虫愛づる姫君」は自然界にいる全ての虫を分け隔てなく愛する人物であった。

　イ「虫愛づる姫君」は日本で初めて「本地」ということばを使った人物であった。

　ウ「虫愛づる姫君」は毛虫が蝶になる様子から、その本質を見る人物であった。

　エ「虫愛づる姫君」は既存の風習や観念にあえて反抗する勇敢な人物であった。

　オ「虫愛づる姫君」は現代の専門家や学者も顔負けの知識を持つ人物であった。

答　ウ

問　「合理的」とあるが、筆者が、虫愛づる姫君の「合理的」な振る舞いについて記している一文を本文中から抜き出し、最初の五字

　を答えよ。

答　虫を見ると